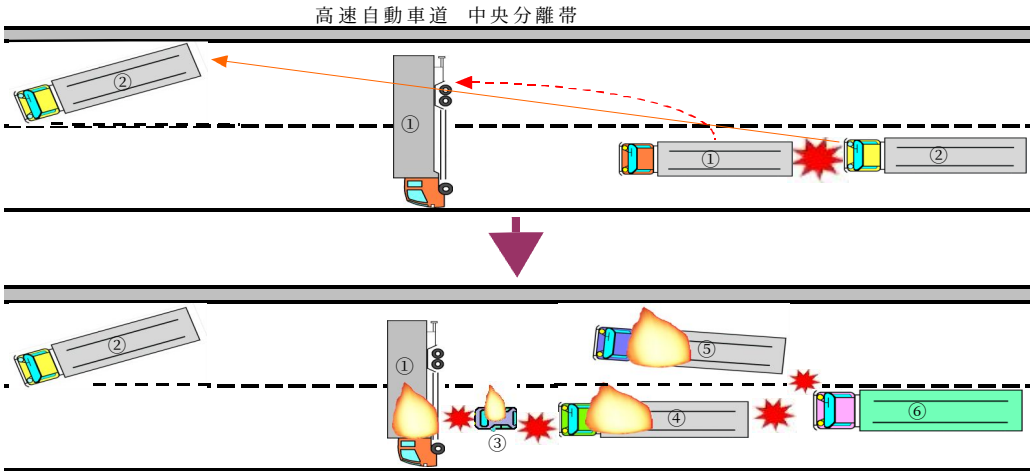
事故事例〔トラック　2〕

曜日・時間・天候	水曜日・0時30分・雨
場　　所	高速自動車道　直線上り坂道
道路の状況	湿　幅員9．0 m
運　転　者	年齢39歳　運転歴5年0ヶ月
乗務開始～事故発生の乗務距離	759 km（2泊3日行程の3日目）
損　　害	死亡者1名（軽自動車③）、重傷者1名、軽傷者1名

〔事故概要〕

高速道を大型トラック②が漫然運転で走行し前を走っていた大型トラック①に追突、大型トラック①が横向きとなり道路をふさいだところに次々と玉突き衝突し、軽自動車③が大型トラック同士に挟まれ押しつぶされ火災が発生し4台の車両が全焼した。



種別・業態	普通・貨物・大型トラック②（バン）
最大積載量	13，900kg
当時の積載量	10，150kg
乗車定員	2名
当時の乗車定員	1名

【事故の推定原因】

○　高速道路をオートクルーズを使用し走行していたことにより漫然とした運転中、緩い上り坂にさしかかり前を走っていた大型トラックとの接近の判断が遅れ追突した。

○　制限速度80 km/h のところ90 km/h とスピードが出ていた。

【事故の要因】

○　オートクルーズを使用していて平坦から緩い上り坂に変わった。

○　天候は雨で路面が濡れ滑りやすく、深夜でもあり視界が悪かった。

○　追突された大型トラックが横向きとなり道路を塞いだ。

○　深夜ではあったが交通量が比較的多かった。

○　大型車に挟まれて軽自動車が走行していた。

【運転ミス要因（心身、態度、技術）】

○　平坦から緩い上り坂に変わったことにより、前車のスピードが下がったのに気がつかなかった。

○　深夜、雨、高速道の単調な直線であったことから、運転に対し集中力が薄れ、運転以外のところに意識がいっていた。

【再発防止対策】

○　安全速度での運転及びオートクルーズ使用方法の指導徹底

○　滑りやすい路面及び視界が悪い天候での十分な車間距離の確保の指導

○　運行に際してのプロドライバーとしての意識と責任感に関する指導

○　運行における休憩又は休息に対する運行指示の徹底